

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

企業価値の最大化のため、資本コストや株価向上・株主還元を意識した経営を実現

ROE
8%株主資本配当率
2.5%売上高
2,050億円営業利益
85億円

② 中長期の経営戦略

1. 成長戦略の着実な実行

2030年の目指すポートフォリオに向け、グローバル事業、リカレント・リスクリング領域、メディカル/ウェルネス事業に戦略的投資。高付加価値サービス拡大やLTV最大化も推進

3. 株主還元

株主資本配当率2.5%を目指し、安定的かつ持続的な株主還元を実施

2. 資本効率向上

投資意思決定の精緻化と不採算事業モニタリング強化で事業ポートフォリオを最適化。政策保有株式圧縮や余剰資産売却でキャッシュ創出と債務削減を実行

4. ガバナンス強化

監査等委員会設置会社への移行により、グループガバナンス強化と意思決定の迅速化を実現

③ 対処すべき課題

① 消費需要の構造変化への対応

- ・実質賃金減少と物価上昇による家計圧迫に対応。単純な価格転嫁は困難で、高付加価値商材や差別化サービスが必須
- ・消費者の根強い節約志向に対し、収益性を確保する必要がある

② 教育領域での多様な学習需要対応

- ・不登校児増加と地域・所得による教育機会格差に対応。デジタル教材活用が進展
- ・社会人対象のリカレント教育・リスクリング需要の拡大に対応

③ 介護・医療分野での経営効率化

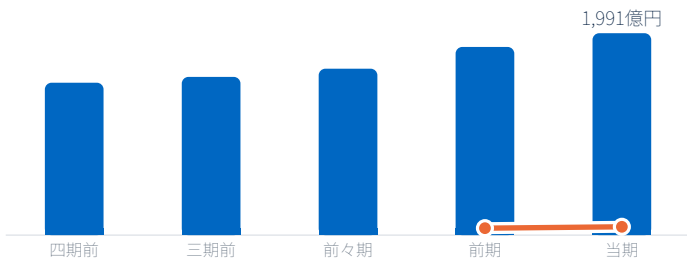
- ・高齢化に伴う需要拡大で人材確保が困難。食材費や建築費上昇で経営を圧迫
- ・企業や民間による多様な介護支援・見守りサービス提供が広がる中での競争対応

面接で使えるポイント

- ・教育とメディカル/ウェルネス事業を軸に、リカレント・リスクリング領域への戦略的投資で社会課題に対応している企業
- ・2030年の目指すポートフォリオ実現に向け、グローバル事業など3つの戦略領域に積極投資し成長を追求
- ・2026年9月期売上高2,050億円・営業利益85億円を目指す新中期経営計画により、持続的な企業価値向上を実現

証券コード 9470

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,991億円営業利益率
4.1%財務健康度
34点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
963万円

情報・通信業内 35位/592社

平均年齢
44.3歳

情報・通信業内 59位/593社

平均勤続
11.7年

情報・通信業内 90位/593社

女性管理職
26.1%

情報・通信業内 71位/373社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 学研グループ、新卒採用サイトを全面リニューアル | 株式会社

